

○今月の病害虫発生状況○

- ・ **灰色かび病**の発生はやや少なく、**うどんこ病**は少ない発生です。
- ・ **アブラムシ類、ハダニ類及びアザミウマ類**の発生は平年並です。

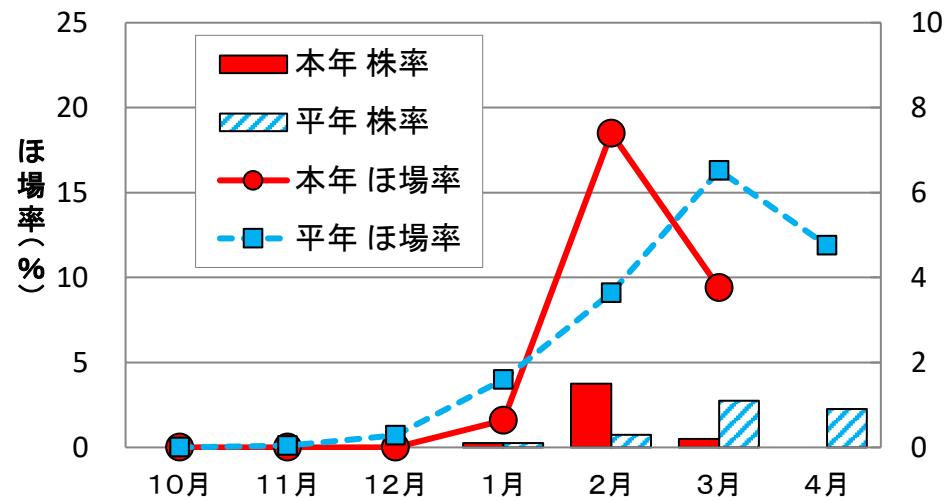


図1 灰色かび病発生ほ場率・株率

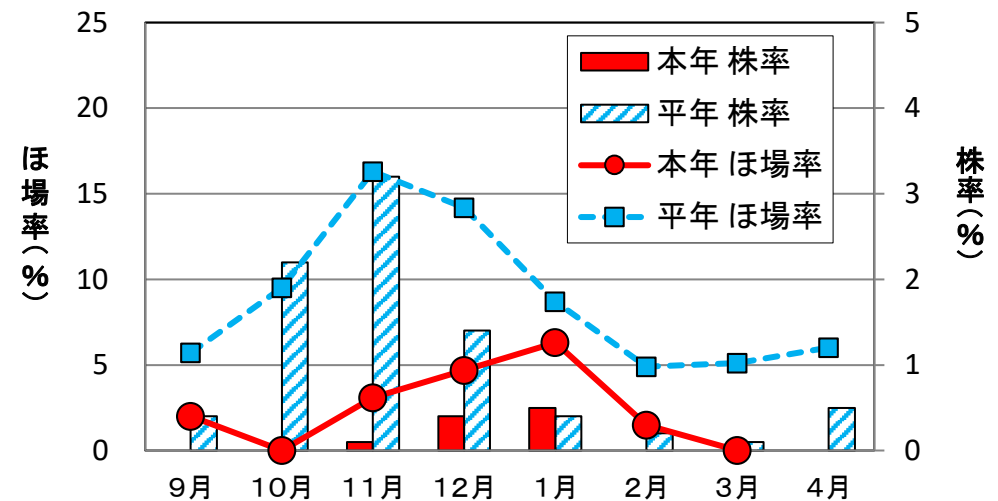


図2 うどんこ病発生ほ場率・株率

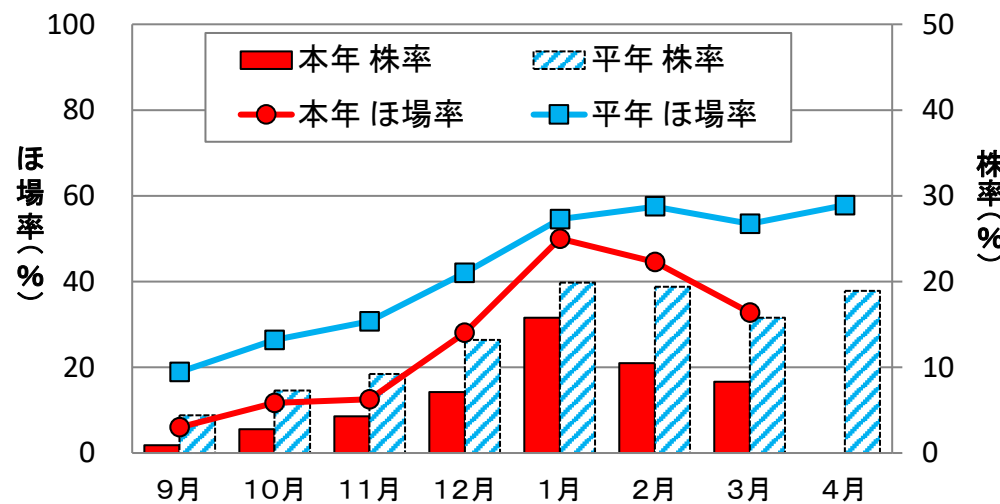


図3 ハダニ類発生ほ場率・株率

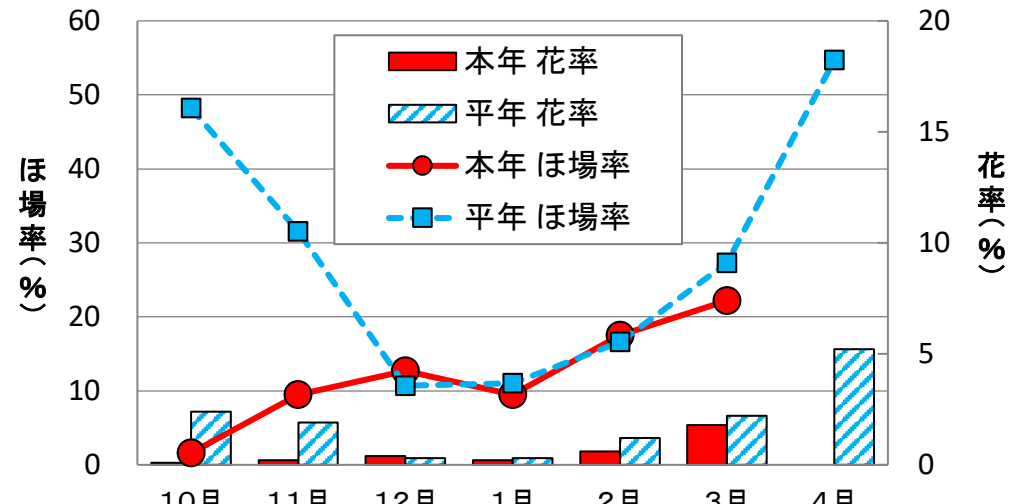


図4 アザミウマ類(花)発生ほ場率・花率

○今月の技術情報（技術指導班）○（3月）

- ・ 病害虫の発生は、うどんこ病は少ないですが、ほ場により灰色かび病、炭疽病、萎黄病、アブラムシ類、ハダニ類、アザミウマ類等が見られます。特に、炭疽病、萎黄病の発生は平年より多い傾向です。
- ・ 害虫については気温の上昇に伴い、活動がより活発になり発生が増加しますので、よく観察し発生初期の防除に努めましょう。
- ・ 向こう1か月の天候の見通しは、平年同様晴れの日が多く、気温は高く、降水量はやや多く、特に、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みとなっています。温度の上昇による果実の傷みなど、品質低下にも注意が必要です。
- ・ まもなく令和3年産親株の定植時期となりますが、親株床の準備等、計画的に作業を進めるとともに、凍み症や病害虫の発生を確認し、健全な親株を定植しましょう。



写真1 灰色かび病の被害果



写真2 アザミウマ類による被害果